

ワークショップ 「つながろう」

結果報告



平成28年6月

浦和東部地域元気アップネットワーク

目 次

1. ワークショップ「つながろう」とは？	1
2. 話し合いの結果 今回のワークショップの結論)	3
3. どんなことを話し合ったか 第1回～第3回のそれぞれのまとめ	4
4. 参加者の皆さん	21

1. ワークショップ「つながろう」とは？

～ことのはじまり～

2015 年のある日、浦和東部地域元気アップネットワークのメンバーで、こんな会話がありました。

A さん：「元気アップサロンをもっと増やしてほしい。領家だけでなく、大東や南箇でも回数を増やしてほしい」という声がありますね

B さん：そうは言っても、私たちだけでは手が足りないですよ。今のメンバーでこれ以上増やすのは無理。

C さん：仲間を増やさないといけないけど、どうしたらいいかなあ。

D さん：もう、みんなに声かけるしかないですよ。地域の中で何かしたいっていう人も増えていると思うし。

A さん：サロンだけでなく、子どものことや、共働きや障がい者の方なども困っていて手を必要としてる人はいろいろいるよ

D さん：そしたら、ボランティア募集！ とかじゃなく、みんなで考える場をもってみましょう。何人来てくれるかわからないけど。小さくてもいいから始めてみましょう。



こんなことがきっかけで、ワークショップ「つながろう」を始めることになりました。

地域ですでに活躍されている方だけでなく、少しなら何かできるかな・・・とか、そろそろ地域で何かしたいな・・・と思っている人も一緒に、少しずつでもいいから輪を広げて、**お互いに住んでよかった**と思えるようになったらいいよね、と参加者の思いが重なり、皆さんに声をかけさせていただきました。

～そもそも 浦和東部地域元気アップネットワークって何？～

2012年2月に、包括支援センター スマイルハウスと浦和スポーツクラブが、地域のシニア世代の健康づくりに協力して取り組もうと話し合ったことがきっかけでした。

1年後の2013年2月に、地域で活躍されているボランティアの方や、デイケアサービスの事業者の方々など多様な顔ぶれが集まり、情報共有と連携のための浦和東部地域元気アップネットワークを立ち上げることにしました。

介護や福祉など様々な課題に取り組んでいる、ボランティア、NPO、企業、地域団体、民生委員などが集まり、お互いの取組を尊重しながら、協力できるところは協力していくことを決めました。

その中で、サロンに取り組もうと、最初は月に1度程度、少しずつ増やしていき、現在では、ほぼ毎週1回の頻度で、領家公民館において元気アップサロンを開設するようになりました。

年に何度かは、大東や南箇でもサロンを開いています。



また、2013年には、地域の中で運動ができる場所を整理した元気アップ・運動マップ2013を作成し、地域の各所で配布してきました。



2. 話し合いの結果

いろいろな立場の組織や人が、地域の中で自主的につながろうとしたこの集まりを大事にしていくことにします。

まず、困りごとの解決に役立つ、地域の中にある「お宝」（人材、施設、お店など）のガイドブックをつくることにしました。

～こんな話し合いがありました～

○今回出された地域の課題は、これまでも言われてきたことが多い。話し合いで終わらせないで、つぎのことに取り組んでいこう。

○この集まりには、事業者もボランティアも社協関係も民生委員もNPOも参加していて、貴重な場だ。

○参加者は、それぞれが自分の活動で忙しいので、すぐに一つのことに一緒に取り組むのは難しいが、地域の中で、こうやって一緒に話し、つながることに大きな意味がある。

○情報を共有することで、お互いに助け合えたり、紹介しあえたりする。

○地域には、課題の解決に役立つ人材や事業者や場所が、まだまだあるはずだが、それが生かせていないと思う。

○みんなの持っている、知っている情報を一つにまとめれば、たくさんの人の役に立つと思う。

○課題解決に役立つ「地域の宝」のリストをつくろう。



3. どんなことを話し合ったか

- 1 回目：身近な困りごとについて話し合いました
- 2 回目：「地域の中の課題」と「あるといいこと」について話し合いました
- 3 回目：これから取り組むことは何かを話し合いました

1 回目：2月28日（日）15時～ 領家公民館

- ・ 地域での取り組み紹介：ケア・ハンズ 中村さん
- ・ グループワーク：地域の課題について
まずは身近なことから考えよう



2 回目：3月20日（日）13時～ 領家公民館

- ・ グループワーク：
地域の課題、地域の人困っていること
こんなもの、ことがあればいいなと思うこと



3 回目：4月24日（日）10時～ 領家公民館 23名

- ・ 情報提供：地域包括ケアシステムについて
- ・ 意見交換：今後に向けて



参加者募集

ワークショップ つながろう



子ども、若者、シニア、誰もが、
住んで良かったと思えるまちをつくるために、
集い・話し合い・取組みを始めませんか

■対象：浦和東部地区にお住まい・お勤めの方

（主に木崎、三崎、大東、領家、瀬ヶ崎、駒場地区）

■参加費：無料

回	日時	会場	内容
1	2/28（日） 15時～17時	領家 公民館	お話し：NPOケアハンス中村代表 グループ会議：「こんなことに困ってます」 グループに分かれて、地域の現状と課題をみんなで出し合います。皆さんが問題と感じていることを教えてください。
2	3/20（日） 13時～15時	領家 公民館	情報提供：地域のいろいろな取組みの紹介 グループ会議：「こんなことができるといいな」 1回目に出し合った課題を解決するために、地域でどんなことができるか、できるといいかをテーマごとに話し合います。
3	4月中旬	未定	グループ会議：「ここから始めよう！」 2回目に考えた課題解決策に、地域でどのように取り組んでいくか、自分達で無理なく進められる計画を考えます。 参加者全員の交流会

ケアハンス：ゆっくりした心のふれあいを大切に、高齢者、障害者、子育てまで柔軟で
幅広い支援を市内で20年間実践しているNPO

■主催：浦和東部地域元気アップネットワーク

■問い合わせ・申し込み

地域包括支援センター・スマイルハウス浦和

電話：048-813-7710

「住んで良かった」と思えるまちを一緒につくる

ワークショップ「つながろう」実施要項

赤ちゃんから、若者、シニアまで、「ここに住んで良かった」と思える安心して暮らせるまちは、自分達でつくりだすもの。

でも、一人の力だけではなかなか大変。

地域のいろいろな人がつながれば、できることも増えるにちがいない！

みんなで集い、話し合い、つながり、取り組んでいきませんか。

回	日時	会場	内容
1	2/28(日) 15時～17時	領家 公民館	お話し：NPOケアハnz 代表 中村清子さん グループ会議：「こんなことに困ってます」（地域課題整理）
2	3/20(日) 13時～15時	領家 公民館	情報提供：地域のいろいろな取組みの紹介 グループ会議：「こんなことができるといい」（解決策検討）
3	4月中旬 後日決定	未定	グループ会議：「ここから始めよう！」（行動計画立案） 参加者全員の交流会

ケアハnz：「誰もが住みなれた地域で、その人らしい生活を続けられるように」、ゆっくりとした心のふれあいを大切に、高齢者、障害者、子育てまで柔軟で幅広い支援を展開するNPO。主に浦和区、南区、桜区、緑区、中央区を活動範囲として20年の実績。

■ **対象**：浦和東部地区（主に木崎、三崎、大東、領家、瀬ヶ崎、駒場）にお住まい・お勤めで、「住んで良かった」まちづくりに関心のある方ならばどなたでも無料で参加できます。

■ **参加方法**：下欄の参加申し込み書に必要事項を記入して、**2/21(月)まで**にお申し込みください。（2回目からの参加も可）
また、グループワークの進行をお手伝いいただける方は、その旨ご記入ください。

■ **主催**：浦和東部地域元気アップネットワーク

連絡先 （浦和区東部圏域）地域包括支援センター スマイルハウス浦和
電話048-813-7710 FAX048-813-7731
さいたま市浦和区領家4-13-3（領家公民館前）

* 浦和東部地域元気アップネットワークは、地域のボランティア有志、福祉関連事業者、地域スポーツクラブなどが集まり、2013年から話し合いを始めました。現在、領家公民館を中心に元気アップサロンをほぼ毎週1回開催しています。

参加申し込み書（スマイルハウスまでFAX・郵送もしくはお届けください）

名前		年齢	代	住所	
電話			メール		
ひとこと	（所属団体や関心のあるコトガラについてご記入ください）				

* お名前、ご住所のうちの字（例 領家）、ひとことは、参加者名簿に記載させていただきますが、事務局からの連絡のために、ご住所は番地までご記入ください。

3. 1 第1回目

(1) 開催概要

日時 2月28日(日) 15時～
場所 領家公民館
参加 27名
内容 1) 趣旨説明
2) 他己紹介 ～アイスブレイク～
3) 取組み紹介 NPOケア・ハンズ 中村さん
4) グループワーク 地域の課題出し～自分の周りの身近なこと～



運営委員の井上さんからご挨拶



15秒他己紹介でみんな笑顔に



活発なグループワーク



グループごとの発表



たくさん意見が出ました！



さらに意見交換

(2) 出された意見

A～Dの4班に分かれて地域の困りごとを出し合いました。
主に、自分の身近なことから出していくことにしました。

■ 地域にはどんな困りごとがありますか？	子ども	大人	高齢者	全年代
A	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に勉強 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調の悪い子どもの通院や学校の迎え ・親などの朝夕の安否確認 ・昔話を聞きたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・電球交換 ・家具の移動 ・ちよっとした修理 ・整理整頓の手伝い ・道の所々に休憩ベンチがあれば。バス停などにも。 ・高齢者が気軽に集まれる場所 ・高齢者の話し相手になってあげる 	<ul style="list-style-type: none"> ・留守中の水やり ・不在時の犬の散歩、えさやり ・裁縫、縫い物 ・近所の方と話したい＝仲間を作りたい ・地域で支援の必要な方の確認、把握をどうするか ・趣味を共に学ぼう ex)俳句、短歌、川柳 ・ちよっとした悩み相談
B	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達がボールを使って遊ぶ広場がもつとあったらいい(公園では中止されているので) ・子ども達が自由にのびのびと安心して遊べる大型の児童館(木崎地区にはそのような施設が無いので) ・公園の看板無視(サッカー、野球の危険性) ・子どもの遊びの世話係 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の市役所などへの手続き ・簡単な外国語会話 ・着物、浴衣の着付け ・バザー等、リサイクル情報 ・マッサージ ・ちよっとした悩み相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボケ」症状の人への接し方をするか ・引きこもりの老人を外に誘いたい ・近所の高齢者が日中過ごせるサロンらしき場所があつたらいい(特に男性は参加しないので) ・自治会の役員が回ってきたが、高齢なので代わりに誰かに頼みたい ・パソコンのアドバイス、文書作成 ・同世代のつながりが欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペット <ul style="list-style-type: none"> ➢ 世話、一時預かり ➢ 犬…ノード、黄など ➢ 猫…数が増えた ➢ 命の教室 ・駅までの道の雪かき ・産業道路にもう少し歩道が欲しい

班	子ども	大人	高齢者	全年代
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちよつとした昔遊びをしてくれる人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車の掃除 ・ 都合が悪くて犬の散歩が出来る人 ・ 昔話(戦争体験) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電灯、クーラーなどのフィリター交換 ・ パソコンのアドバース、文書作成(PCのワード、スマホの使い方をその都度教えてほしい) ・ ゴミだし(⇒ふれあい収集に頼むほどではない) ・ 家の中の片づけ ・ など重い物の移動 ・ 食事作り、おかず作り ・ 通院の付き添い ・ 一緒に出掛ける人 ・ 話し相手 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手話 ・ 雪かき ・ 簡単な外国語会話 ・ 埼玉都民の研究(故郷のない市民) ・ 近所付き合いの研究(転入の時代による孤立) ・ 刃物研ぎ ・ 庭木のお手入れ ・
D		<ul style="list-style-type: none"> ・ 平日の市役所などへの手続き ・ 留守番 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肩たたき ・ マッサージ ・ 話し相手 ・ ちよつとした悩み相談 ・ 高齢者の話し相手がほしい ・ 友達が欲しい ・ 車いすの介助、手伝い ・ 車を運転する人がいない ・ 荷物持ち 	

A～D班のまとめ

子ども	大人	高齢者	全年代
<p>■見守り、サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強の面倒を見てくれる人がほしい ・遊びを見守ってくれる人がほしい ・昔遊びを教えてくれる人がほしい <p>■遊び場、活動の場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール遊びなどして公園が危ない ・子どもがのびのびと遊べる大型の児童館 <p>■伝承、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の話を聞かせてくれる人がほしい ・戦争体験などを話してくれる人がほしい 	<p>■平日に時間がとれない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調の悪い子どもの通院や学校の迎え ・留守番をしてくれる人 ・市役所の手続き <p>■家事などの代行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬の散歩 ・車の掃除 <p>■相談ごとなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちょっとした悩み相談 ・簡単な外国語会話を手伝ってくれる人 ・着物、浴衣の着付け ・マツサージ <p>■情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バザー等、リサイクル情報 	<p>■暮らし・家事のサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 食事作り、おかず作り ➢ 片づけ、家具の移動、整理整頓 ➢ ちよっとした修理、電灯、クーラーなどのフィルター交換 ➢ ゴミだし <p>■介助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすの介助、手伝い ・車を運転する人がいない ・買い物の荷物持ち ・通院の付き添い ・高齢者の朝夕の安否確認 ・認知症の人への接し方をどうするか <p>■サロン・話し相手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に集まれる場所 ・話し相手がほしい ・同世代のつながりが欲しい ・引きこもりの老人を外に誘いたい ・どうするか（特に男性） ・近所の高齢者が日中過ごせる場所 ・一緒に出掛ける人 <p>■相談ごと、お手伝い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンのアドバース、文書作成 ・肩たたき ・マツサージ ・ちよっとした悩み相談 ・自治会の役員の替わり 	<p>■暮らしのサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留守中の水やり、庭木の手入 ・裁縫、繕い物 ・刃物研ぎ <p>■ペット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世話、一時預かり ・犬…ノード、糞など ・猫…数が増えた ・命の教室がなくなった <p>■まちの問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅までの道の雪かき ・産業道路に歩道が欲しい ・まちの中に休憩ベンチを。 <p>■地域社会・コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な方の確認、把握をどうするか ・埼玉都民の研究（故郷のな ・い市民） ・近所付き合いの研究（転入の時代による孤立） <p>■ちよっとした悩み相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話 ・簡単な外国語会話 <p>■仲間づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所の方と話したい＝仲間を作るきっかけが欲しい ・趣味を共に学ぼう ex) 俳句、短歌、川柳

3. 2 第2回目

(1) 開催概要

日時 3月20日(日) 13時～
場所 領家公民館
参加 21名
内容 1) 前回の振り返り
2) 他己紹介 ～アイスブレイク～
3) グループワーク 地域の課題とあればいいなと思うこと



(2) 出された意見

お彼岸に重なってしまったため、参加できない方もいらっしゃいましたがA～Cの3班に分かれて、活発な意見交換が行われました。

■ A班

【コミュニティスペース】

- ・ いつでも、誰でも行ける場がほしい
- ・ いつでも、誰でも集まれるところがない
- ・ サロンの使える場所がない
- ・ 共有スペースがほしい
- ・ 目的がはっきりしないと使えない
- ・ 皆さんが集まる場所がほしい
- ・ 公民館にコミュニティスペースがないのはおかしい
- ・ 利用者、住民の声が反映されていない
- ・ きっかけは行政が声かけして、住民や利用者の意見をきくべき

【近所づきあい】

- ・ あいさつが少ない
- ・ 声をかけ合う習慣がなくなった
- ・ 住民同士の交流が少ない
- ・ 自分から言う機会を増やす
- ・ 近所力が弱い
- ・ 交流するきっかけをつくる
- ・ 自治会が自分達でやることをやれなくなっている

【ごみ】

- ・ ゴミ出しのルール
- ・ ごみ袋に名前を書いて出す
- ・ 説明冊子がわかりづらい

【道路・まちのデザインの問題】

- ・ 道路がガタガタで車イスが通りづらい
- ・ 歩道が狭い
- ・ 商店ののぼり旗が視界を遮って危ない
- ・ 計画する側に十分な経験がない
- ・ 細くても両面通行が多い
- ・ 縁石が邪魔な道路が多い、危ない
- ・ 北宿通り狭くて危ない
- ・ インターロックの歩道がガタガタになって車イスはとおりづらい
- ・ 多世代の声を聞いてつくと良い
- ・ 統一したデザインですっきりした商店街を
- ・ 路上喫煙禁止エリに喫煙場所があるのはどうか？

【公園】

- ・ 公園に禁止事項が多い。子どもが自由に遊びづらい

- ・ 街中に緑が少ない。小さくても良いから公園がほしい
- ・ 公園に遊具が少ない。壊れたままで使えない

■ B 班

【子ども】

- ・ 子どもが具合悪いと学校へ迎えに行かなければいけない。サポートシステムがほしい
- ・ 保育園時代の問題は、その時が過ぎると忘れてしまわれる

【公民館】

- ・ 公民館は地域のためのもの
- ・ 高齢者がはじかれている
- ・ 公民館で取りまとめして、雪かき等できる人に集合かけてほしい
- ・ 地域の希望であって、役所の言うことを聞く以外なく、地域の希望が通らない
- ・ 公民館で活動している皆さんに地域に出てきて活動してほしい
- ・ 情報弱者＝お年寄り 調べられない、教えてもらえない

【サロン等】

- ・ 空き家を利用したサロンがると良い
- ・ 空き家利用し、地域で運営するような仕組みがほしい
- ・ 学校を使ってデイサービス行っている
- ・ やろうと思えば仕組みをつくれるはず
- ・ ふれあい会食も遠い方は行かれない
- ・ シルバーカーや車いすの方は送迎がほしい
- ・ バスの無料制度がほしい
- ・ サロンへいく送迎がほしい
- ・ 車イス、シルバーカー利用の方と元気な方向けなど、いろいろなタイプがほしい
- ・ 巡回バスがほしい

【高齢者窓口】

- ・ 病院に行ってもいいかもわからないような時に健康相談の出来る窓口があると良い
- ・ 60代、70代をたばねる地域コーディネーター

【雪かき】

- ・ 雪を溶かす薬剤を配ってはどうか
- ・ 消防団やパトロール隊が雪かきをするなど、困ったことに出動する仕組み
- ・ 道路の雪かきはみなで行っているが、敷地内は誰も行ってくれない。誰かにお願いしたい

■ C班

【課題】

- ・ 個人商店がどんどん閉店していってしまう
- ・ 他力本願から自力解決への取り組みがない
- ・ コミュニケーションの媒体は何か？ 犬、孫、防災、祭・・・
- ・ 自治会長の意識の持ち方で自治会のあり方も変わるのではないか
- ・ 回覧版と自治会費の集金以外に近所付き合いがない
- ・ 暮らしの悩みや課題を伝えるところがあると良い
- ・ 世代間の交流がないため、世代が違っていると知った人がいない
- ・ 多世代が参加できる地域のイベントが少ない
- ・ 子どもに声かけるのがためられる
- ・ サービスを無償で受けるのは嫌。お金を払うと気が楽
- ・ 男性の地域の参加が少ない
- ・ 近所の人と付き合いたいと思う人と付き合いたくない人がいる
- ・ 自治会の広報に人を呼び込む工夫が必要
- ・ 地区の行事にどうやって参加してもらうか
- ・ 自治会の地形や大きさによって町内のつながりが変わる
- ・ 子ども会の仕事は現役では面倒。
- ・ 子ども会は地域がまたがると長い付き合いができない
- ・ 地域の子どものふれあいの機会が無い
- ・ 祖父母世代にもよって、子どもとふれ合いたいと思っている人と、そっとしておいてと思う人がいる。
- ・ 地域の絆のなさ
- ・ 近頃、困っていることを言える環境にない

【対策について】

- ・ 地域清掃イベント、ごみ拾い
- ・ 広報の仕方、工夫をしていく
- ・ 生協などのサービスの利用
- ・ 応分の費用負担（受益者負担）
- ・ お祭り、節分、盆踊りなど子どもだけでなく高齢者が休めるスペースをつくる
- ・ 防災訓練、子ども会に役割を持って参加してもらうと、顔見知りの関係ができる
- ・ 公民館主催の1日ハイキング
- ・ 自力解決できる支援

A～C班のまとめ

要素	意見
集まれる場	<ul style="list-style-type: none"> ・ いつでも、誰でも行ける場がほしい ・ いつでも、誰でも集まれるところがない ・ サロンの使える場所がない ・ 共有スペースがほしい ・ 目的がはっきりしないと使えない ・ 皆さんが集まる場所がほしい ・ 公民館にコミュニティスペースがないのはおかしい ・ 利用者、住民の声が反映されていない ・ きっかけは行政が声かけして、住民や利用者の意見をきくべき
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館は地域のためのもの ・ 高齢者がはじかれている ・ 地域の希望であって、役所の言うことを聞く以外なく、地域の希望が通らない ・ 公民館で活動している皆さんに地域に出てきて活動してほしい
サロン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家を利用したサロンがると良い ・ 空き家利用し、地域で運営するような仕組みがほしい ・ 学校を使ってデイサービス行っている ・ やらうと思えば仕組みをつくれるはず ・ ふれあい会食も遠い方は行かれない ・ シルバーカーや車いすの方は送迎がほしい ・ バスの無料制度がほしい ・ サロンへいく送迎、がほしい ・ 車イス、シルバーカー利用の方と元気な方向けなど、いろいろなタイプがほしい ・ 巡回バスがほしい
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院に行っていていいかもわからないような時に健康相談の出来る窓口があると良い ・ 60代、70代をたばねる地域コーディネーター ・ 情報弱者＝お年寄り 調べられない、教えてもらえない
雪かき	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雪を溶かす薬剤を配ってはどうか ・ 消防団やパトロール隊が雪かきをするなど、困ったことに出動する仕組み ・ 道路の雪かきはみなで行っているが、敷地内は誰も行ってくれない。誰かにお願いしたい ・ 公民館で取りまとめして、雪かき等できる人に集合かけてほしい
ご近所	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつが少ない ・ 声をかけ合う習慣がなくなった ・ 住民同士の交流が少ない ・ 自分から言う機会を増やす ・ 近所力が弱い ・ 交流するきっかけをつくる ・ 自治会が自分達でやることをやれなくなっている ・ コミュニケーションの媒体は何か？、犬、孫、防災、祭・・・ ・ 自治会長の意識の持ち方で自治会のあり方も変わるのではないか ・ 回覧版と自治会費の集金以外に近所付き合いがない ・ 暮らしの悩みや課題を伝えるところがあると良い

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代間の交流がないため、世代が違っていると知った人がいない ・ 多世代が参加できる地域のイベントが少ない ・ 男性の地域の参加が少ない ・ 近所の人と付き合いたいと思う人と付き合いたくない人がいる ・ 自治会の広報に人を呼び込む工夫が必要 ・ 地区の行事にどうやって参加してもらうか ・ 自治会の地形や大きさによって町内のつながりが変わる ・ 祖父母世代にもよって、子どもとふれ合いたいと思っている人と、そっとしておいてと思う人がいる。 ・ 地域の絆のなさ ・ 近頃、困っていることを言える環境にない ・ 個人商店がどんどん閉店していつてしまう ・ 地域清掃イベント、ごみ拾い ・ 広報の仕方、工夫をしていく ・ 生協などのサービスの利用 ・ 応分の費用負担（受益者負担） ・ お祭り、節分、盆踊りなど子どもだけでなく高齢者が休めるスペースをつくる ・ 防災訓練、子ども会に役割を持って参加してもらうと、顔見知りの関係ができる ・ 公民館主催の1日廃棄g んう ・ 自力解決できる支援
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ出しのルール ・ ごみ袋に名前を書いて出す ・ 説明冊子がわかりづらい
道路・まちのデザインの問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路がガタガタで車イスが通りづらい ・ 歩道が狭い ・ 商店ののぼり旗が視界を遮って危ない ・ 計画する側に十分な経験がない ・ 細くても両面通行が多い ・ 縁石が邪魔な道路が多い、危ない ・ 北宿通り狭くて危ない ・ インターロックの歩道がガタガタになって車イスはとおりにづらい ・ 多世代の声を聞いてつくと良い ・ 統一したデザインですっきりした商店街を ・ 路上喫煙禁止エリアに喫煙場所があるのはどうか？
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園に禁止事項が多い。子どもが自由に遊びづらい ・ 街中に緑が少ない。小さくても良いから公園がほしい ・ 公園に遊具が少ない。壊れたままで使えない
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが具合悪いと学校へ迎えに行かなければいけない。サポートシステムがほしい ・ 保育園時代の問題は、その時が過ぎると忘れてしまわれる ・ 地域の子どものとのふれあいの機会が無い ・ 子どもに声かけるのがためられる ・ 子ども会の仕事は現役では面倒。 ・ 子ども会は地域がまたがると長い付き合いができない

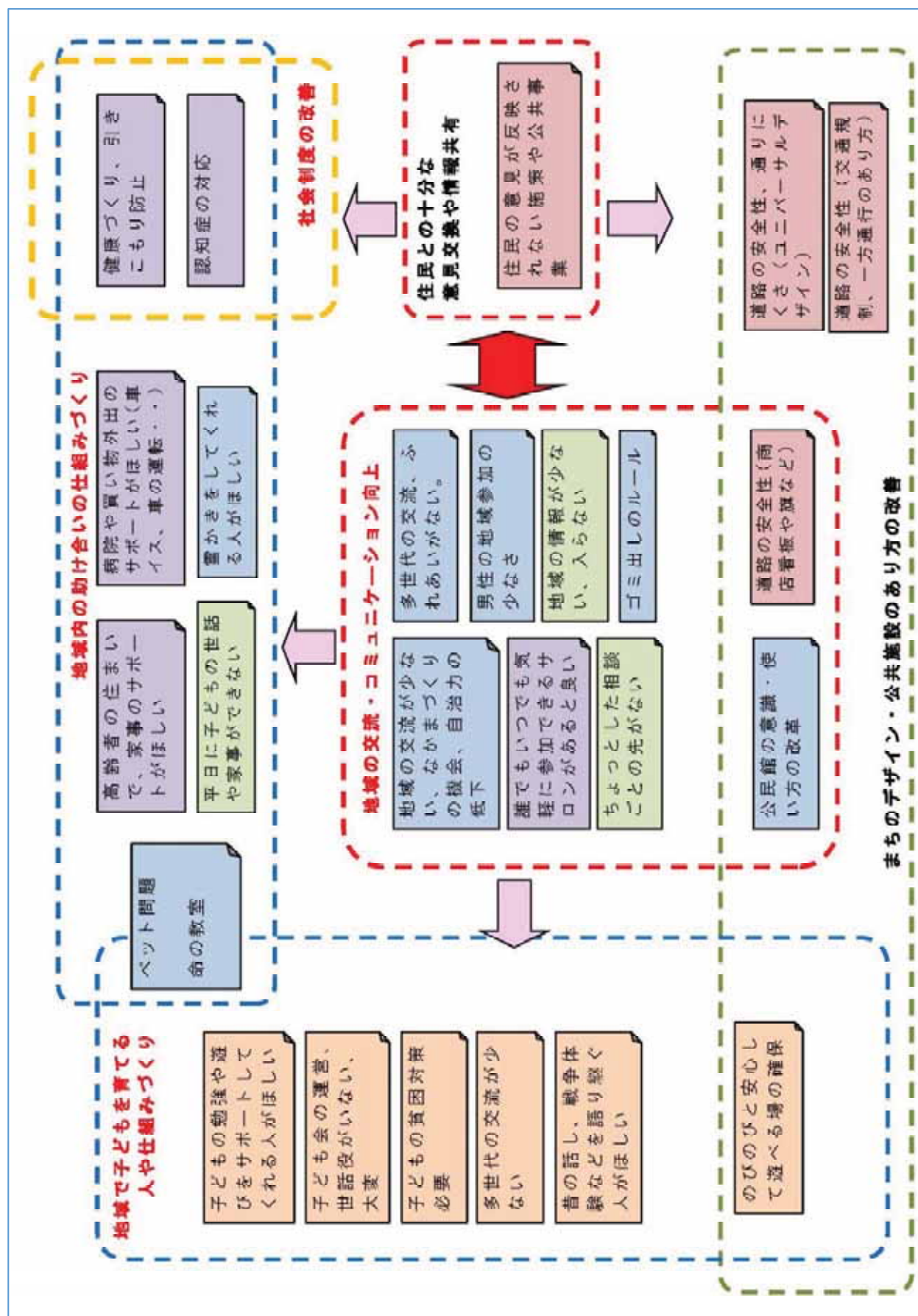
3. 3 第3回目

(1) 開催概要

日時	4月24日(日) 10時～
場所	領家公民館
参加	23名
内容	1) 第1～2回のとりまとめ 2) 地域包括ケアシステムと地域コーディネーターについての説明 3) 今後に向けた意見交換



(2) 第1～2回の意見のまとめ



(3) 出された意見

【こんなまちになるといい】

- ・ 学校とかともつなぐとよい。雪かきなどは元気な学生が活躍してくれるといい
- ・ 子どもでも高齢者でも一人で歩いて行ける場所があるといい
- ・ 地域で助け合える、近所のつながりができるとよい
- ・ 気軽に「助けて」と発信できる環境になるといい

【こんなふうに取り組んでいきたい】

- ・ 楽しく進めなければ人は増えない
- ・ 懇親会などもあるとよい
- ・ 趣味のサークルが増えるのもよい

【地域の人材をいかすためにも、地域にあるものを掘り起こして大事にしよう】

- ・ ふれあいカフェをやっているが、参加者数が少なくて持ち出しが多い。PRは個人で行うのは難しい
- ・ 高齢者の困りごとはいくつもある、ケアマネ1人ではとても負いきれない
- ・ 民生委員の成り手も少なくて弱っている
- ・ 問題が多すぎて、今のままでは対応しきれない
- ・ そういう状態だと、個々のニーズが出てきづらい
- ・ 口コミの力は大きい
- ・ キーワードは「地域」だと思う
- ・ 情報の掘り起こしが大切だ
- ・ 社会資源調査のようなものができるといい
- ・ 何ができるか聞き出すのもよい
- ・ 地域の人材情報があるとよいということだと思う
- ・ 地域を掘り起こすことが必要ではないか
- ・ 地域にあるものを大事にしていくとよい

【多様な立場の人が集まるこの機会を大事にしていこう】

- ・ 今まで出された課題は、これまでも出されているものと同じようなことが多い
- ・ みなさんが出した課題は、地域の問題を幅広くカバーしていると思う。
- ・ この会議の意味は、地域をネットワークしていることだと思う
- ・ 参加者の専門分野は多様である
- ・ 職業として携わる部分もある。ボランティアだけでは続かないと思う
- ・ 地縁団体と市民団体と事業者とが同席して話し合っているのは、貴重な場である
- ・ この会議(WS)は、行政の仕組みに組み込まれたものになってはいけない。
- ・ 地域の会議に行政もいるといい

- ・ 地域包括ケアのモデル事業で、高齢者が集まって話をしたら「子どものために何かしたい」という声がたくさん出た。地域包括ケアは、高齢者のためだけではなく、多世代を対象としていく必要がある
- ・ 包括支援センターが中心になると思うが、広い世代を対象にしてほしい

4. 参加した皆さん

名前	1回目	2回目	3回目	所属
荒木 茂子	○			市民
石井 知香子	○			元気アップネットワーク
磯 常男	○	○	○	市民
上村 恵美子	○			市民
臼井 常雄	○	○		サポートセンター麦
大川原 いと子			○	市民
大木 かおり	○			セブンイレブン
大貫 美智子	○			山手ケア 居宅介護支援
大橋 ちづ子		○	○	民生委員
岡本 成子	○			市民
岡本 広祐	○			
菊池 陽子		○		医療生協
黒瀬 二郎			○	ニコニコキッチン
桑原 孝	○			市民
小鶴 美佐子		○	○	ジャパンケア
斉木 薫	○		○	健康運動指導士
佐々木 千鶴子	○	○	○	社会福祉協議会
佐々木 太	○	○	○	ひばり領家
柴田 京子	○	○		ケアハンズ
島村 公之助		○	○	マスオ エスコートベア
白井 誠一		○	○	自治会
高岡 裕子	○	○	○	前領家2丁目自治会長
高橋 五江	○		○	領家1丁目民生委員
高橋 利夫	○			前領家6丁目自治会長
田母神 博			○	小規模多機能型施設
築館 喜久枝	○			民生委員 自治会
中村 清子	○	○		ケアハンズ
中谷 仁	○	○		センチュリー北浦和
野辺 由郎			○	領家介護を考える会
萩原 武夫	○		○	市民
橋場 淳子				
平野 智子		○	○	民生委員 自治会
本間 園子		○	○	たんぽぽ介護
増原 牧子	○			ルピナス
宮前 由美子	○	○		元気アップネットワーク
若井 清子		○		傾聴＊ランティア
小柳 嘉文	○			さいたま市議会議員
井上 誠	○	○	○	元気アップネットワーク
西澤 映美子	○		○	スマイルハウス浦和
千野 和代	○	○		スマイルハウス浦和
上岡 祥子	○	○		スマイルハウス浦和
仙道 清二			○	スマイルハウス浦和
小原 美香子	○			スマイルハウス浦和
小野崎 研郎	○	○	○	浦和スポーツクラブ
小川 貴	○		○	浦和スポーツクラブ

発 行：平成２８年６月

編 集：浦和東部地域元気アップネットワーク

問合せ：地域包括支援センター スマイルハウス浦和

電話：０４８－８１３－７７１０